



1_職員などに拍手で迎えられ、初登庁する田中町長 2_職員を前に、訓示を述べる 3_新たな気持ちで名刺を手にする 4_「これから一層気を引き締めて、松前町の明るい未来をつくっていききたい」就任にあたり、メディアからの問い掛けに答える田中町長



田中浩介 たなか・こうすけ

出身 松前町徳丸

生年月日 昭和57年12月16日
(41歳)

経歴 平成13年松山南高等学校卒業。平成18年広島大学法学部法学科卒業。平成20年松前町入庁、県地域政策課派遣を経て、令和3年町総務課企画政策係長となり、数多くの企画立案、計画策定に携わった後、令和5年退職。

信念 不撓不屈

※ どんな困難があっても決してくじけないこと

趣味 マラソン、読書。愛媛マラソンの出場経験あり。



▲はんざり競漕に出場した田中町長

【はんざり競漕】

私が、町の行事で一番好きなのは、「はんざり競漕」です。令和元年は夏祭りの「はんざり競漕」に出場し、団体戦で優勝したこともあります。誰でも楽しめる競技なので、ぜひ皆さんも挑戦してみてください。

特集

希望が生きるまちを目指して

— 田中町政始動 —

第19代松前町長が決定

松前町長選挙
開票結果

当落	得票数	候補者名
当	11,304	田中 浩介
	3,573	岡本 靖

無効91票

任期満了に伴う松前町長選挙は11月26日、投票が行われ、即日開票の結果、第19代松前町長に田中浩介候補が決定しました。投票率は59・49%。前々回(平成27年)は62・84%。前回令和元年は無投票を3・35ポイント下回りました。

12月11日、初登庁

多くの町民の期待を背負い、田中町長は12月11日、初登庁しました。

役場で行われた就任式では、「これからの日々は、私たちにとって新たな挑戦。共に乗り越え、成果を上げるためには、職員が丸となって協力し、助け合い、信頼し合うことが必要。共に力を合わせて、より良い松前町を一緒に築いていきましょう」と訓示し、新たなまちづくりに向け、結束を呼び掛けました。

みんなと一緒に「新しいまさき」をつくる

田中町長が描くまちづくり。

その展望と、実現に向けた決意と抱負を聞きました。

町長に就任するにあたって

人口減少を食い止め、未来を変えるためには、これからの10年が重要です。松前町は、今まさに変革の時。このチャンスに逃さず、まちを発展させるためには、皆さんの力が重要です。

まちの主役は、町民の皆さん一人一人。町民と役場職員が一緒になってまちづくりを考え、提案し、行動していく。そんな町政を支えられるリーダーになりたいと思っています。

目指すまちづくりは

松前町に戻って来たい、ずっと松前町で暮らしたいと思えるまちにするため、皆さんと一緒に「新しいまさき」をつくりたい。一人一人の不安や悩みに寄り添い、課題を希望に変えるため、次の五つのまちづくりを実行していきます。

五つのまちづくり

① 希望が生まれる ― 圧倒的な子育て支援

子育ての経済的な不安を解消するため、18歳までの医療費無料化（12ページ参照）、2人目以降の保育料無償化、小中学校の給食費無償化の3つの無償化を行うほか、子どもを預けやすい環境を整備するなど、圧倒的に子どもを産み育てやすいまちを実現します。

② 希望が続く ― 高齢者にやさしいまちづくり

また、子どもたちを中心に多世代が過ごせる遊び場の整備や、自宅から簡単に相談や手続きができるスマートフォンアプリの開発も行いたいと考えています。

高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちを実現するために、高齢者個人に対する支援の充実、さらに高齢者の暮らしを支える社会基盤の整備を進めます。地域での居場所や支え合う仕組みづくり、地域公共交通施策の拡充を図ります。

特に、車がなくても便利に暮らすことができるよう、乗合型デマンドタクシーなど新たな仕組みを検討していきたいと思っています。

③ 希望が育つ ― 真の教育のまち

ICT技術を活用し、子ども一人一人に合った教育を実現するとともに、真の教育の

まちとして、公立学校の教育の質を向上させます。全ての子どもたちが安心して教育を受けられるよう学習環境の整備に取り組みます。

また、年少世代のアスリート発掘や、障がい者スポーツの充実など、人生を豊かにし、地域を活性化するスポーツ振興に取り組みます。

④ 希望を支える ― 新産業・経済成長戦略

私たちの生活をこの先も持続可能にするためには、今よりも稼げる地域でなければなりません。地場産業への支援、自立した経済循環を生み出す企業誘致などに取り組み、若者定着にもつなげます。

農地の集積・集約化や農産物の生産性の向上を目指すほか、珍珠など水産加工物のブランド力を向上することで、農業や水産業をもうかる産業にし、地域を活性化します。

⑤ 希望が生きる土壌 ― 持続可能なまちの基盤整備

減災、防災に向けてレジリ

エンス（災害対応力）の強化を徹底します。防災、教育、産業、行政などさまざまな分野のDXを大胆に進め、町民が主役のまちづくりにこだわります。また、ふるさと納税の強化など、新たな財源を創出したと考えています。

最後に

このまちには、人口減少、超高齢社会など課題が山積み。しかし、課題があるからこそ、「変われる」と私は確信しています。「課題」は、「希望」へのチャンスです。

役場を退職し、たった一人で始めた挑戦。応援してくれる人が、一人、また一人と増えていき、松前愛にあふれる人が、このまちにたくさんいることを実感しました。そんな松前愛にあふれる人たちと連携し、松前町をもっとワクワクするまちに変えていく。それが実行できる行政を目指します。まちの主役は、私でも、役場職員でもなく、町民の皆さん一人一人です。

みんなと一緒に「新しいまさき」をつくっていきましょう。